

市民の負担を減らすために何に取り組む？

みどりの会 竹内靖人



固形ペレット燃料

質問↓ペレットストーブの導入には当然投資が必要だが費用対効果だけで価値を決めることはできない。燃料コスト削減のために取り組まないか。
農林部長↓ペレットストーブ導入は価格面等、未

だ解決すべき課題もあるが木質バイオマス利用の有効な方法と認識している。導入の可能性について検討をしていきたい。
教育次長↓教育委員会では冬季暖房用の燃料高の影響は六百万円の経費増とみている。今後、予算確保の検討や効率的な使用をする必要がある。
質問↓ペレットストーブの導入は未活用バイオマスの活用推進に結びつける重要な役割を持っている。結果は行政コストの削減につながり、さらに市民の負担が減る事になる。廃棄物等の有効利用に取り組む必要がある。

「ふるさと納税」現段階での効果は

新風会 岡田康弘



ふるさと納税のパンフレット

質問↓広報つやま八月号の折込やホームページで募集しているが、現段階での効果、ふるさと納税以外の営業効果は。
答弁↓ホームページへの掲載、盆帰省者に合わせた広報つやま八月号への折込、

同窓会でのリーフレット配布などに取組み、八月末現在で六件、二十七万六千円の寄附があった。その他の営業効果は、各種リーフレット、公用車など市が所有する資産への広告事業の実施により歳入増を図っていく。また、広報、ホームページへの広告募集で広告主から広告媒体としての有意性を評価されると共に、新たな歳入増を図っていく営業的姿勢の周知が図られてきており、現在進めている広告入り封筒などの物品寄附による経費節減とあわせ、更なる効果的な営業を企画していく。

人づくりについて

津山誠心会議 中島完一

津山国際総合音楽祭



昨年開催された、津山国際総合音楽祭の冊子

質問↓文化、芸術面での人材育成事業として、どのような事業がなされ、その成果をどう認識しているのか。
経済文化部長↓「津山市文化芸術奨励金」

の交付や、「つやま芸術祭」など文化振興財団主催事業に取り組んでいる。また、津山国際総合音楽祭などイベントの企画・運営を市民協働で行うことで、人材や団体の育成がなされていると考えている。
質問↓芸術文化の振興と津山ならではの情報発信のために、拠点となる場所の整備が必要ではないか。
市長↓芸術祭など、場所の整備以前に、地域文化の発信と市民の多彩な文化活動の促進や、文化を育む環境を整備するという観点から、今後も引き続き支援したい。

中期実施計画に総合武道館建設の考えは

津山新星会議 近藤吉一郎



質問↓地方分権改革に伴う三位一体の改革の影響はどうか。
答弁↓三位一体改革の影響は総額では三十億六千万円程度の大規模な減額。

質問↓県の財政危機宣言を受ける中で中期実施計画の基本方針は。
答弁↓今回の県の財政危機宣言と財政構造改革プラン素案については市民生活への影響が心配されるが極力影響が出ないように関係市町村と協力して見直しを積極的に働きかける。
質問↓総合計画に武道館構想を取り入れる市長の考えは。
答弁↓美作の国は武道の国であり、その伝統を十分活かしていきたいの思いもある。今後、継続して十分検討をしていかなければならない課題である。